

令和2年度第1回公民館運営審議会議事録

令和2年度第1回公民館運営審議会は、新型コロナウイルス感染防止対策として、対面方式の会議を開催せず、書面のやりとりを通して意見と回答を交換して議事録まで作成する一連の流れを1回の会議として行った。

以下、この方法による会議を書面会議という。

1 第1回会議の流れ

資料送付	令和2年5月25日（月）
委員からの意見提出期限	令和2年6月9日（火）
議事録作成	令和2年6月26日（金）

2 出席者

（委員）

越村委員長、軽部委員、後条委員、松浦委員、杉田委員、西村委員、大川委員、田中委員、林委員、勝田委員、永田委員、渡辺委員

3 議 事

下記議題については、書面会議として資料に基づき、委員から提出された意見・質問に対して回答を行った。その内容は別添のとおり。

（1）報告事項

- 1）令和元年度公民館利用状況報告について
- 2）公民館キャッチフレーズについて

（2）審議事項

- 1）令和2年度公民館運営審議会年間活動計画について

（3）その他

(別添)

令和2年度第1回公民館運営審議会

意見・質問及び回答一覧

(1) 報告事項

- 1) 令和元年度公民館利用状況報告について
- 2) 公民館キャッチフレーズについて

(2) 審議事項

- 1) 令和2年度公民館運営審議会年間活動計画について

(3) その他

(1)報告事項 1) 令和元年度公民館利用状況報告について

ご質問・ご提案・ご感想	回 答
<p>1 公民館利用者数・主催事業参加者数ともに前年度比で約10%減という結果になっていますが、「令和元年度 浦安市公民館事業報告（総括）」にも記されていることが「原因」であることは明白であり、やむを得ない事情による減少だと考えます。令和元年度においても、職員の皆様のご尽力により、充実した公民館事業が展開されたと感じています。</p>	<p>令和元年度は台風の避難所開設や新型コロナ感染予防を講ずるなど施設として「安心・安全」を重視した年となりました。令和2年度も引き続き行くとともに、今後の公民館事業の見直しなどを行ってまいります。</p>
<p>2 「障がい者への取り組み」について、数値は依然として低いかもしれませんが、資料「1-3 令和元年度3つの重点事業について」にも記されているように、少しずつ、新たな取り組みが増えてきているように感じています。引き続き、「障がいの有無」等に関わらず、「誰もが学べるユニバーサルな公民館（市民のみんなに開かれた公民館）」の実現に向けて努力をかさねていただきたいです。</p>	<p>従来の公民館は、公民館や他の場所など会場を設けて事業を行ってきました。今回、新型コロナ感染予防により主催事業を中止にせざるをえなくなったことで、改めて気づかされたことは、公民館に来館できない人へのサービスが不十分であったことです。今後、「市民のみんなに開かれた公民館」として、まずは、オンライン講座の検討と実施を考えております。また、障がいのある方への学習支援や居場所づくりも引き続き検討してまいります。</p>
<p>3 「乳児・青少年を対象とした事業」については、「乳児」「少年」を対象とした事業がほとんどであり、「青年（若者）」に向けたチャレンジが圧倒的に弱いと感じています。地域の若者のニーズや直面している課題をつかみ取り、地域の若者と一緒に新たな公民館事業が創り出されていくことを期待しています。</p>	<p>「青年」対象の事業につきましては、以前からの課題となっております。ニーズを把握するとともに、関係部署、団体等との連携も視野に入れ検討してまいります。</p>
<p>4 資料「1-3 令和元年度3つの重点事業について」に記されている「課題と令和2年度に向けて」の内容は重要だと考えます。公民館ではありませんが、例えば、兵庫県丹波市の市民活動課（生涯学習係）では、コミュニティFMを活用した学習機会の提供を始めています。 参考（丹波市HP） https://www.city.tamba.lg.jp/site/corona/koukairadiokouza.html メディアを活用した講座等の配信には著作権上の課題等もあるかと思いますが、新型コロナウイルス感染症の終息にはまだ時間を要することから、新たな形態による学習機会の提供についても、早急に検討・実施していくことが必要ではないでしょうか。</p>	<p>情報のご提供ありがとうございます。 学習機会の提供方法として学習内容、受け手の便利さなどを考慮して検討してまいります。 現在、進めている事業として「おたっしゅ体操」の動画を配信を予定しております。 今後は上記のNo.2に記載しましたとおり、オンライン講座を主として事業を検討してまいります。 さらに、インターネット利用ができない方への対応も視野にいたした学習提供方法についても検討してまいります。</p>
<p>5 既存の「ルネサンス」とは別に、各館が「公民館だより」を発行し、「コロナ禍における住民の生活・学習に役立つ情報」等を定期的に発信していくことも、今、公民館に求められているように思います。</p>	<p>各館がその地域のニーズや求めている情報を発信していくことは重要だと考えております。情報発信は公民館のロビー掲示も含め、検討してまいります。</p>
<p>6 数多くの取り組みに感心しております。7つの基本体系で活動を行っている居ますが、各公民館で力を入れるジャンルを決めているのでしょうか。</p>	<p>各館がこれまでの実績や地域の特性を掴んで事業を組み立てております。</p>
<p>7 基本体系4の「障がい者の取り組み」が無い公民館が有りますが、地域性でしょうか。</p>	<p>現在、「障がい者への取り組み」事業は、現在、堀江公民館「きぼう青年学級」、中央公民館「こころのやすらぎサロン」となっており長年にわたって活動を続けております。どちらも、ボランティアや精神福祉士にお手伝いいただき、お手伝いいただく方のスキルや障がいに対する知識や理解が必要になってくることから、他の公民館で事業を組むことが難しいところです。 その他、「障がい者への取り組み」として、各館対応で、講座等で手話通訳を取り入れております。</p>
<p>8 取り組みの数にかなりのバラツキが有りますが、これも地域性でしょうか。</p>	<p>各公民館の地域の特徴や地域住民のニーズを捉えて事業を組んでいることから、各館によって数のバラツキがでております。</p>
<p>9 各ジャンルの取り組み数に、目標が有るのでしょうか。</p>	<p>主催事業は基本体系ごとの数を設定し予算を組んでおります。</p>

10	P1 公民館利用の実施数について 1. 幼児・青少年の発達に応じた取り組みで美浜公民館はリニューアル中なので少ないのは分かりますが、高洲公民館は子供が多い地区なのに実施数が少ないのが気になりました。（事業の区分が難しいと思いますが）	高洲公民館の特徴として、ロビーにおいて、園児、小中学生の利用が多くみられますが、ご指摘のとおり、高洲公民館においては、幼児・青少年対象の事業は他館と比較して少ない結果となっております。今後は中学生を含む子どもたちに向けた事業を充実させていきます。
11	サークル活動の育成支援の推進 を重点事業に上げていました。私は浦安市のサークル活動はかなり熟成されていると感じています。現在活動しているサークルを生かした講座がもっとあっても良いと思います。	サークルを生かした講座を実施することで、地域交流とサークル会員のスキルアップや「市民のみんなに開かれた公民館」につながっていくと考えます。現在、活動しているサークルを意識し事業計画をたててまいります。
12	中央公民館の「子供プログラミング教室」「スマートフォン教室」などタイムリーで良いと思います。スマートフォン教室に参加した方が同じ機種の手帳で説明して頂きたかったとの意見もありました。	講師との事前協議の中で、今までこのような教室を開催する中で、自分のスマホを使って、操作を身に着けたいという方が圧倒的に多いという話を伺い、このような形で実施しました。
13	写真を添付しますと文章と共に学ぶ情景が浮かび伝わります。特にスマートフォン講座を受講された方はまなびねっとurayasuから公民館にアクセスしたり挑戦されてると思います。	スマートフォンに関する講座は、引き続き、他館も含め行っていきたいと考えております。
14	堀江公民館の「おひさまクラブ」「きぼう青年学級」「大人の社会科学」当代島公民館の「人権講座」「カフェであいらんど」などは地味ですが公民館の顔になっています。PRしてもっと参加者が増え、ボランティアの方が増えると良いのですが。	事業のPR方法については、今現在、公民館報ルネサンスや「まなびねっとURAYASU」、各館掲示のポスターに留まっておりますが、検討されるべき重要な課題であると考えます。また堀江公民館ではボランティア養成講座も行っておりますが、参加者が奮わない状況です。公民館の利用が少ない若い世代にも効果のあるPR方法を検討いたします。
15	富岡公民館の「釣り講座」「工場見学」「歴史講座」など魅力あふれる講座だったと思います。	講座のテーマの決定については、市民が関心や興味を持っている内容や直面している課題などについて検討し決定しています。また、今後とも館内の講座開催にこだわらず実施してまいります。
16	美浜公民館がリニューアル中にも「子育てミーティング」を行ったとありますが、どの様な事を行ったか興味を感じました	「子育てミーティング」は学級生の自主企画により親・家庭の役割、社会状況やこどもの発達段階に応じて生じる課題等を学習しています。美浜公民館が大規模改修により9月から閉館となりましたが、学級生の参加意識、学習意欲が高く、継続の希望がありましたので、引き続き富岡公民館に場所を移し学習を継続することになりました。内容につきましては、学級生の自主企画による講座やワークショップ等を行いました。
17	高洲公民館の事業で高洲中学校との連携事業が新鮮で良かったと思います。公民館活動の広がりを感じました。生徒と一緒に講演を聞いたのも良かったですが、生徒が行った「浦安クイズ」は特に面白かったです。	高洲中学校との連携事業は令和元年度の事業の成果の一つとしております。「浦安クイズ」については、生徒が積極的に携わり、近隣の小学生や園児たちとの交流が生まれました。今後も学校との連携については実施していきたいと考えております。
18	高洲公民館・高洲中学校の協働事業「自分らしいって何だろう？～性別のいろいろ」講演会を拝聴した。講師が生徒に明るく誠実に接する姿が印象的で、生徒もリラックスし、本音で語る雰囲気があつてよかった。子どもの在校時代には「いったい誰のため？」と疑問を感じざるを得ない講演会も存在したが、今回は未来社会の担い手となる若い世代が求められるであろう“資質・思考”を養うトレーニングともなり、実りある講座になったと思う。それゆえ11月に高洲公民館で実施された保護者対象の関連講座に高洲中保護者の参加がなかったのは残念。頭で理解したと思っけていても、実際に当事者を前にし、生の言葉で聞くのとでは、思考の深まり方がまったく違う。我々青少年相談員にとっても必要な講座かもしれないと感じた。	”性の多様性”の事業を開催するにあたり、講師と綿密に話し合いをおこなってきました。いかに聞いてほしい人に届けるか、内容がデリケートなこともあり、生徒をとりまく大人に正しい知識と理解を得る必要がありました。性の多様性のテーマは今後も取り上げていきたいと考えております。
19	高洲公民館、高洲中学校協働事業良い企画だと思いました。“自分らしいって何だろう？”に参加しました。飯田先生のお話の進行が面白く生徒が自分の意見を言える素晴らしさが印象的でした。また先生の体験談にも心が痛みました。残念なことに保護者参加なし、良い機会でしたのに。	

20	3つの重点事業である、多文化の理解に関する場づくりに関する講座が良いと思いました。今回は日本語、英語、イタリア文化についてでしたが、他の国の文化もあるとよいのではないかと思います。特に浦安にお住いの外国人の方の出身国に関する講座があると、人々のつながりに役に立つと思います。	多文化の理解に関する学習機会の提供については、多くの国や文化を取り上げ実施してまいります。
21	中央公民館の実施統計で、No. 39 「医学療法士が教える～」は「理学療法士」の間違いではないかと思います。	ご指摘のとおり、正しくは「理学療法士」です。訂正いたします。
22	各公民館の報告から「子ども向け」「高齢者向け」「世代をまたいだ」取組に力を入れられていたと感じました。	公民館の役割のひとつである世代間交流は、地域交流の要と考えます。今後も世代間交流に繋がる事業の展開をしてまいります。
23	7つの基本体系の①③⑥が多かったことがよくわかりました。基本方針は「メリハリ」をつけて対応するものでなく、すべて積極的に対応するものと理解します。取組が弱い項目への対応が望まれます。	令和2年度は事業精査を行い、強化が望まれる事業につきましては、次年度に実施できるよう検討してまいります。
24	基本方針②、④、⑤、⑦への強化が望まれます。	
25	その地域に居住している人の年齢差によって講座の参加者数が違うと感じた。	各公民館で実施している事業は、どこの公民館の事業でも参加することができますが、公民館の施設の特徴や地域によって参加者の年代等が違ってまいります。
26	人口密度によっても違いが表れていると感じた。	
27	同じ課題でも各公民館で受講する人に差があると思った	
28	各年代層に対して多彩な事業が提供されていると思う。年代間で交流企画が増えるとよいと思う。	世代間交流として、富岡公民館の野菜栽培講座では、近隣保育園の子どもたちを招いて野菜の収穫を行っております。また美浜公民館の子ども夏まつりでは地域のボランティアと子どもたちの交流が図られております。今後も同様に、世代間の交流を促す事業を実施していく方針です。

(1)報告事項 2) 公民館キャッチフレーズについて

	ご意見	回 答
1	各館とも、地域性や公民館の状況等を踏まえた、ポジティブなキャッチフレーズになっていると感じます。単なるスローガンにしないためにも、キャッチフレーズに込められた「想い」をきちんと職員間で共有し、その実現に向けて努力しつづけることが大切だと思います。	ありがとうございます。実現に向けて努力してまいりたいと思います。
2	大変良いと思います。それぞれの地域性を生かしたキャッチコピーと感心しています。 ・もう一つキャッチフレーズの文章の他に、日の出公民館の「太陽マーク」の様な視覚に訴える、キャッチフレーズを生かした、イメージ出来るキャラクター的な絵を、用意したらどうでしょうか？ ・このシールは活動参加者に配ってはどうでしょうか？	ご提案いただきありがとうございます。今後、検討いたします。
3	・各公民館でキャッチフレーズを作ったとの事ですが、今までもキャッチフレーズがあったのでしょうか？ ・どの様な場面で使うのでしょうか？ いまで文化祭でポスターに使っていたものと同じように使うのですか？	・今までは、文化祭のキャッチフレーズはありましたが、公民館としてのキャッチフレーズはありませんでした。 ・キャッチフレーズは目標でもあることから、講座お知らせのチラシ、ポスター等に記載し、公開してまいります。
4	毎年、公民館祭のキャッチフレーズを楽しみにしている。今回の「公民館キャッチフレーズ」はどの館も特色をシンプルかつ的確に捉えた言葉選びが素晴らしい。とくに放課後の子どもたちで賑わい大人たちが見守る堀江公民館の様子が目に浮かぶ「ワイワイ」という言葉が親しみやすく気に入った。	ありがとうございます。堀江公民館は、小学生の放課後の交流の場となっており、子どもの声であふれていることからイメージしたところで
5	どれもよく考えられていると思います。	
6	地域の特色を掴み公民館を盛り上げるキャッチフレーズ、各公民館共に力強さを感じます。利用者皆さんの居場所が出来ると良いです。特にポスターで見る日の出公民館のアイデア、goodですね。	今後はポスター以外に講座お知らせのチラシ、ポスター等に記載してまいります。
7	各公民館の現状を見つめつつ未来に向かって希望に満ちた趣旨が込められていて良いと思います。	ありがとうございます。 趣旨に負けないように努力してまいります。
8	公民館によって、事業が多かった基本方針①、③、⑥がキャッチフレーズに反映が読み取れますが、そうでない公民館に質問したいところです。	基本方針の反映が読み取れないキャッチフレーズもあろうかと思いますが、未来に向けて、ともに学んだり、チャレンジしていくという想いを込めて決定したところです。
9	公民館のキャッチフレーズは、それぞれの館の特色をよくとらえていると思う。キャッチフレーズとは、各館が掲げる理想であり、地域の課題解決の目標を表しているともいえるので、今後もこのキャッチフレーズを意識して主催事業を企画していただきたいと思う。	今後はキャッチフレーズを意識して事業の企画、公民館の運営に努力してまいります。

10	<p>どのキャッチも未来に向けて手をつなげていく様に呼びかけていますが、新型コロナの第1波の時には、いち早く公民館を閉じ、シャットアウトしていたのでキャッチフレーズが胸に響きません。第2波、第3波の時には、もう少し地域のために出来ることを見つめなおして「学び、出会い、人の和を大切に、ともに歩き、未来へつばげる」ように地域の中心となって、発信していかなければ、と思いました。</p>	<p>国からの緊急事態宣言に伴う自粛要請が発令されたことで、公民館をはじめとする市の施設を休館としました。今回の感染は世界的に脅威とされており、第2波、第3波の時も同様に国や市の方針に従って開館の有無を決定いたします。ただし、再開にあたっては、安心・安全を心がけてまいります。</p>
----	---	--

(2)審議事項 1) 令和2年度公民館運営審議会年間活動計画について

	ご意見	回答
1	特にありませんが、「公民館基本方針」に関すること等、重要な審議事項が予定されていますので、一委員としてしっかりと議論に参加したいと思います。	計画どおり実施できるよう努力いたします。
3	コロナ禍で3月、5月が中止になりましたが、今回この様なかたちで各公民館から出された書類を見て、意見や感想を書き込みました。普段集まって意見を述べるよりも内容を良く読み込み、表現に時間を掛けました。良い部分もあるように感じます。(質問に対する返事が直ぐに無いのが欠点ですが)	他課でも書面会議を行っておりますが、通常の会議より多くの意見が出されたようです。今後、書面会議が実施された場合は、なるべく早く議事録(案)を提出するようにいたします。
4	7月10日の審議会が行われたら良いと思います。感染に配慮した開催をお願いします。	新型コロナウイルスの状況次第になるうかと思えます。
5	(5月末の判断として)9月末までの主催事業の中止、今後の審議会スケジュール、状況においては活動計画の変更や書面での会議となる可能性等、記載されていることすべてに異存なし。	計画どおり実施できるよう努力いたします。
6	新型コロナの影響により、特に研修会、大会など、多くの方が集まる場合は開催の方法を考えなければならないかもしれません。	国や県、市の基準に従い、実施になるうかと思えます。
7	年6回は多いと感じますが、7館あるので妥当な回数だと思います。	新型コロナウイルスの状況によっては、今回同様に書面会議になることもあります。
8	4月から9月まで主催事業が中止となっている状況下での審議会はとてもまれな事態だと思う。各公民館がどのように休館中の活動を行っておられたのかも教えていただきたい。	公民館の維持管理及び運営にあたっての事務、新型コロナ感染拡大防止対策に係る作業や主催事業の企画立案等を行ってまいりました。
9	1-2「公民館キャッチフレーズ」で記したとおり、もう少し新型コロナのことを学び、近隣に力になれる公民館を、この先模索して行ってほしい。自粛により子供たちのリモート学習の手伝い等もできるようになるのか、機械操作が苦手な人にも情報提供の場になってほしい。	ご指摘のとおり、リモートでの学習形態が定着しつつある中で、操作方法の研修など、利用者に寄り添った学習の提供が求められています。公民館でも新しい生活様式に沿った事業の企画立案ができるよう、検討してまいります。
10	子ども達の一番楽しい夏休みの計画予定が新型コロナウイルス感染拡大予防の為見送られてしまいました。何らかの形で学習情報提供が出来ると思います。11月予定の研究大会昨年度は台風被害の為中止でした、今年度は参加できると良いです。コロナ禍1日も早く終息を願うばかりです。	1-1報告事項No.4で記載しましたとおり現在、進めている事業として「おたっしや体操」の動画を配信を予定しております。さらに、オンライン講座の事業及びインターネット利用ができない方への対応も視野にいたした学習提供方法についても検討してまいります。

(3)その他の意見

ご意見	回 答
<p>1 【質問】新型コロナウイルス感染症の影響で公民館が閉館し、主催事業も中止となる中で、公民館に対して、住民からどのような意見（要望等）が出ていますでしょうか？ 差支えの無い範囲で結構ですので、教えてください。</p>	<p>【主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつから主催事業が開催できますか ・高齢者を対象の「おたっしや体操」を、早く再開してほしい ・おたっしや体操の申込者から、いつからできるのか？コロナに対する恐怖感はあるが、体が弱ってしまう。 ・当代島で集う歌の仲間、折り紙講座、スポーツ吹き矢は、いつからできるのか？ ・外で行う事業など、新しい生活様式を考慮した事業を行ってほしい <p>【美浜公民館について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜公民館の工事延長に伴い、リニューアルオープンの時期の問い合わせの時期が知りたい <p>【文化祭について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間がないので練習が出来ないから今年は開催しても不参加です。 （折角の晴れ舞台で練習の成果が見せられないため） ・時間がないので、作品が作れないため開催しても不参加です。（一年間の成果として立派な作品を展示したい、生半可なものを出せない） ・コロナ渦の中で3密を招くようなイベントはやらないで欲しい。年寄りなので、感染が怖いです。
<p>2 「まなびねっとURAYASU」作る作業は大変かと思いますが、助かります。これからも新鮮な情報が見られることと、期待しております。</p>	<p>主催事業の報告やサークル活動、学習情報などを掲載していきたいと考えております。</p>
<p>3 高齢者事業の見直を行いますとの公民館もありますが、中央公民館の事業で「認知症予防講座」を行って居ましたが、継続事業となることを望みます</p>	<p>国の「認知症施策推進大綱」認知症施策推進関係閣僚会議（令和元年6月18）から、認知症予防に関するエビデンス（科学的根拠）は未だ不十分とされています。また、予防の基本的な考え方として、「予防」とは「認知症にならない」という意味でなく、「認知症になるのを遅らせる、進行を緩やかにする」としています。さらに「運動不足の改善」「糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防」「社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持」等が認知症予防に資する可能性が示唆されている、としています。</p>
<p>4 「認知症予防体験講座」の様な実務型予防体制の構築を行ってみては如何でしょうか？</p>	<p>公民館ではこれまでも、高齢者対象に「おたっしや体操」「スポーツ吹き矢」、「うたごえサロン」、支部社会福祉協議会共催での「サロン」「コミュニティカレッジうらやす」「詩吟・俳句入門」や高齢者の参加が多い「歴史探訪」などを実施しております。 今後は上記の事業以外に認知症の正しい知識と理解を促す講座や講演会等を視野にいれ事業を進めてまいります。</p>
<p>5 今年度最初の審議会が無かったので、教育委員会のメンバー、各公民館の館長の氏名とコメントが頂けるとありがたいです。</p>	<p>次回の審議会では、自己紹介、コメントの時間を設けたいと考えます。</p>
<p>6 会議が開催できずとも資料を拝見できたこと、また落ち着いて意見をまとめ、時間に余裕を持って文書に起こすことができたので、今回の方式はありがたかったです。今後は書面でなく、対面での審議会が行われることを期待しますが、万が一、また書面で意見を募ることがあるような場合、（可能であれば）希望者には意見書のフォーマットをメールにてご送付いただける一文があると嬉しいです。</p>	<p>再度、書面会議となりました場合には、そのようにさせていただきたいと思っております。</p>

7	今後の展開として公民館主催事業「リモート講座」のアイデアがあります。巷では「リモート演劇」が活況でした。市内在住の役者・演出家にも聞き取りし、さまざまな観点から演劇・朗読は、歌やダンスより「リモート講座への馴染みが良い」と考えております。	リモート（オンライン）での講座は今後の重点課題であります。オンラインのメリットは、公民館に来館できなくても講座を受けることができる、繰り返し何度も見ることができる、内容によっては細部まで見ることができる（例えば、体操であれば、指先の動きなど）、字幕をつけることができる（聴覚障がい者や外国人に対応できる）などが挙げられます。情報発信は講座の内容によって、オンラインに限らず、多様なツール（ラジオ、テレビなど）も視野に入れて、検討してまいります。
8	主催事業が9月まで中止ということで、公民館活動費が余ることになるのでしょうか？その場合、ここに充てられた予算はどうなるのでしょうか？	秋以降の事業の組み立てを見直し、公民館活動費に余剰が発生した場合は減額補正等を考えております。
9	障がい者の取り組みへの実施がもう少しあればと思います	報告事項1-1No.7で既出しておりますが、知的障がい、精神障がいのある方を対象にした事業は難しいところではありますが、検討いたします。その他の障がいのある方への取り組みに向けては積極的に取り組んでまいります。
10	高齢者への講座を増やして欲しい	社会情勢や地域のニーズに合わせた高齢者事業を考えてまいります。
11	コロナウイルスの影響で公民館の利用方法も変わらざるをえないでしょうか。	当面は、国や県などの指針に準じて、利用方法も何らかの制約付きで利用となります。
12	令和2年度の課題にはなっていますが、この機会に「ウイルス」に関するの種類、知識、予防など感染症を学ぶ講座を、企画してはどうでしょうか？親子参加型が良いと考えます。	ご提案ありがとうございます。検討いたします。
13	公民館の皆様の取り組みは本当に素晴らしいです。新型コロナウイルスの影響で活動の制約がある現在、これからのように運営していくか非常に難しいと思います。私も微力を尽くしてまいりたいと思います。	今後も、市民のみなさまが安心・安全に利用できるよう努めてまいります。
14	最近、定年後の方々が公民館に参加し、居心地の良い場と仲間に出会い、地域の課題解決へと尽力されている事例をよく聞くようになった。公民館講座が地域参加への窓口と認知されていると思う。それでも、気づいていない方はまだ多い。広報活動を活発にして公民館での出会いや可能性について、多くの情報を絶えず届けるべきだと思う。また、参加者からも常に要望を聞き取り、新しい主催事業や研修の企画に生かしてほしい。	現在、「まなびネットURAYASU」での情報発信、情報紙としてはルネサンスで発信し、講座では参加者からアンケートをいただいております。今後も、より一層情報発信などを強化して事業企画に反映してまいります。
15	公民館の草木の消毒時期には、公民館から近隣等へのお知らせ通知が必要です。（住宅に消毒液が入っていました）	以前より草木の消毒作業を行う前に、近隣等へは業者より通知をポストイングしておりましたが、昨年につきましては、通知することを失念しておりました。近隣のみなさまにご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。今後、通知に関しましては、発送の有無を職員間で確認を行い、気を付けてまいります。
16	当代島公民館の芝生など、屋外にも関わらず新型コロナにより閉鎖しましたが、園児・幼児のための安全と思われる環境にある遊び場を1つ減らしたことで、近くの公園がより密になり、困ると近くに住んでいる方々の困惑した声をたくさん耳にしました。	国からの非常事態宣言の自粛要請が発令されたことで、公民館をはじめとする市の施設が休館となりました。公民館としても、安全・安心を確保するために、芝生開放はいたしませんでした。現在は芝生をご利用いただいております。